

ハラールフード学ぶ

高校会議所 長谷川さんと座談会



テーブルを囲んで意見交換(提供写真)

富士宮高校会議所はこのほど、ホットプランニング取締役でハラールアドバイザーの長谷川瑠美子さんとの座談会「富士宮市の活性化とハラールについて」を西町レトロ館で実施し

た。多数のメンバーが集まり、インドネシアの食文化やイスラム教で食べることが許されている「ハラールフード」などについて学んだ。長谷川さんは、インドネシアの伝統食品・

大豆発酵食品「テンペ」の普及・啓発活動に努めており、世界と日本のイスラム教徒の人口、静岡県とインドネシアの深い関係、テンペの重要性、宗教的なハラールの考え方などについて説明した。メンバーからは活発な意見や質問があり、「インドネシアについて身近に感じられた」「テンペを使ったバリエーションを開発したい」「ハラール食品に対する富士宮高校会議所の考えをまとめた」となどの声が聞かれた。同会議所は今後も継続的に長谷川さんと交流し、持続可能な地域社会づくりに役立つ活動につなげることにしている。